

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	1
事業名	交通安全対策経費	会計	款	項
		一般	2	1
課目		目		11
政策	8 安全と安心を守るために	課名	建設課	
施策	8-2 交通安全・防犯・消費者保護対策の充実	係名	土木係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過・来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備を行う。
事業内容	交通安全対策としてガードレール、転落防止柵、カーブミラー等の設置。また、ライン表示等により利用者の安全を確保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	交通死亡事故発生件数	0			件		0
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				7,600	7,412		9,901	
財源内訳	直接事業費A			5,620	5,432		7,855	
	うち一般財源			3,158	2,938		5,199	
人件費（千円）B				1,980	1,980		2,046	
内訳	一般職員（人・千円）		0.3	1980	0.30	1980	0.31	2046
	臨時職員（人・千円）			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	住民の安全確保のためにも予算の拡充を図る。	③取組の課題	近年、多発する通学路等での事故防止のために事業を拡充する必要がある。また、町内に設置されているカーブミラーの老朽化が著しく計画的な交換を要する。
②R3年度に実施した取り組み	「通学路安全推進会議」や「通学路における合同点検」による改善要望箇所への対策として、転落防止柵や車止め等の対策を実施しました。その他には、消えた区画線の復旧を行いました。また、自治会要望によるカーブミラーの設置や不具合のあるミラーの補修を行っています。	④今後の改善計画	消えた区画線の復旧を図り、利用者の安全確保のためにも予算の拡充を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	2	
事業名	土木総務経費	会計	款	項	目
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	1	1
施 策	9-2 道路の整備・管理	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過・来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の維持管理を行う。
事業内容	道路の維持管理等を行うために、町道等のパトロール、維持管理作業に必要な車両や機器の保守を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				7,744	4,113		4,203	
財源内訳	直接事業費A			5,830	2,199		2,553	
	うち一般財源			5,830	2,199		2,553	
人件費（千円）B				1,914	1,914		1,650	
内訳	一般職員（人・千円）		0.29	1914	0.29	1914	0.25	1650
	臨時職員（人・千円）		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	一部の老朽化した車両の更新を検討する時期が来ている。	③取組の課題	
②R3年度に実施した取り組み	車両等の適正な維持管理を行いました。	④今後の改善計画	適正な管理のもと、車両更新の検討を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	3
事業名	道路橋りょう経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	2	1
施策	9-2 道路の整備・管理	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民等	目的 (対象がどのような状態になっているか)	道路法に義務づけられた道路台帳の更新、保管、閲覧を行う。
事業内容	町道の基礎情報を把握し道路管理業務の円滑化を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			6,899		4,661		13,328	
財源内訳	直接事業費 A		5,183		2,945		11,612	
	うち一般財源		5,183		2,945		11,612	
人件費 (千円) B			1,716		1,716		1,716	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.26	1716	0.26	1716	0.26	1716
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	住民等サービス向上、コスト縮減のためにも道路台帳のデジタル化を図る必要がある。	③取組の課題	現在、道路台帳図は紙ベースであり窓口にて閲覧を実施している。周辺市町はデジタル化されておりHPでの閲覧も可能になっており、住民サービス向上のためにもデジタル化を進めていく。
②R3年度に実施した取り組み	令和2年度中に実施した道路改良や、国等から移管を受けた道路の台帳整備を行いました。	④今後の改善計画	まずはデジタル化を行い、最終的にはHPでの閲覧が可能な台帳整備を行っていく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	4	
事業名	道路維持管理経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	2	2
施策	9-2 道路の整備・管理	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者・ドライバー）、通過・来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備、維持を行う。
事業内容	道路施設等の維持、修繕を行う。また、道路側溝、路側等の整備を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
指標	1	歩道整備率				%		10.7
	2	道路整備に関する満足度				%		↑
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				57,270	62,791			62,233
財源内訳	直接事業費A			49,284	54,805			54,511
	うち一般財源			30,503	35,567			15,257
人件費（千円）B				7,986	7,986			7,722
内訳	一般職員（人・千円）		1.21	7986	1.21	7986	1.17	7722
	臨時職員（人・千円）			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	道路の安全な通行に資するため、道路パト等で日常の点検を行い、計画的な道路維持に努める。	③取組の課題	道路施設等の老朽化が著しく、維持補修費用の拡充が必要である。
②R3年度に実施した取り組み	道路施設、舗装等の修繕及び側溝等の改修工事を行った。	④今後の改善計画	道路の安全な通行に資するため、日常の道路パトロール等で点検を行い、計画的な道路維持に努める。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	5	
事業名	防災・安全交付金事業（狭あい分）	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	2	3
施策	9-2 道路の整備・管理	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過、来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	緊急車両等が安全に通行が出来る道路環境の整備を行う。
事業内容	住宅の新築や改築に接道している幅員4m未満の道路について将来的に4mを確保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	町道改良率	62.4			%		62.3
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				8,235	8,894		9,364	
財源内訳	直接事業費A			4,935	5,594		5,800	
	うち一般財源			2,507	2,822		2,900	
人件費（千円）B				3,300	3,300		3,564	
内訳	一般職員（人・千円）		0.5	3300	0.50	3300	0.54	3564
	臨時職員（人・千円）							

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	補助金の増額を働き掛けていきます。	③取組の課題	補助金の配分が少なく、進捗が遅い。
②R3年度に実施した取り組み	新築、建替えの際に、用地の提供を求め道路の拡幅を行いました。	④今後の改善計画	補助金の増額を働きかける。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	6	
事業名	防災・安全交付金事業（通常分）	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	2	3
施策	9-2 道路の整備・管理	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過、来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備、維持を行う。
事業内容	国の防災・安全交付金を活用し、主要幹線道路等の舗装補修等を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B			44,673	108,396	58,486			
財源内訳	直接事業費A		41,241	104,964	53,800			
	うち一般財源		21,968	54,971	2,700			
人件費（千円）B			3,432	3,432	4,686			
内訳	一般職員（人・千円）		0.52	3432	0.52	3432	0.71	4686
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	国の交付金を活用しながら、事業の進捗を図っていく。	③取組の課題	国からの交付金の配分により、工事の進捗に影響がある。
②R3年度に実施した取り組み	町内の老朽化が著しい2路線の大規模改修を行いました。	④今後の改善計画	交付金を活用し、計画的に工事の進捗を図る。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	7	
事業名	防災・安全交付金事業（橋梁長寿命化分）	会計 一般	款 8	項 2	目 3
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施策	9-2 道路の整備・管理	係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過、来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路橋の維持管理を行う。
事業内容	国の防災・安全交付金を活用し、道路法により定められた法定点検を5年に1回実施することにより、町内にある143橋の維持管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				27,843	65,698		47,292	
財源 内訳	直接事業費A			23,817	61,672		43,200	
	うち一般財源			11,167	28,111		4,940	
人件費（千円）B				4,026	4,026		4,092	
内訳	一般職員（人・千円）		0.61	4026	0.61	4026	0.62	4092
	臨時職員（人・千円）			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	交付金事業を活用し、点検結果に基づき計画的な補修等を行う。また、令和3年度は5年に1回の法定点検があり、結果を基に計画の見直しを行う。	③取組の課題	国からの交付金の配分により、工事の進捗に影響がある。
②R3年度に実施した取り組み	丸山橋の長寿命化修繕工事を実施しました。また、5年に1回の法定点検を実施しました。	④今後の改善計画	交付金事業を活用し、点検結果を基にした修繕計画を策定し、計画的な長寿命化修繕工事を実施する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	8
事業名	防災・安全交付金事業（交通安全対策分）	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	2	3
施策	9-2 道路の整備・管理	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者・ドライバー）、通過・来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備の整備を行う。
事業内容	通学路等の安全確保を目的として歩行空間の確保ができるよう改修を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
指標	1	歩道整備率	10.6			%		10.7
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				0	0			4,678
財源内訳	直接事業費A							2,500
	うち一般財源							1,125
人件費（千円）B				0	0			2,178
内訳	一般職員（人・千円）				0		0	0.33 2178
	臨時職員（人・千円）				0		0	0 0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性		有効性	目標達成度	
		町関与の必要性		効率性	対象者の適切性	
					コストの削減	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

①R3年度の改善計画		③取組の課題	
②R3年度に実施した取り組み		④今後の改善計画	交付金を活用し、計画的に工事の進捗を図る。



令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	9
事業名	町単独道路整備事業	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	2	3
施策	9-2 道路の整備・管理	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過、来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備を行う。
事業内容		町単独費にて道路整備を行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
指標	1	町道改良率	62.4			%		62.3
	2	道路整備に関する満足度	-			%		↑
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）	令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			37,046		33,380	23,012		
財源内訳	直接事業費A		33,878		30,212	18,920		
	うち一般財源		33,878		30,212	1,920		
人件費（千円）B			3,168		3,168	4,092		
内訳	一般職員（人・千円）		0.48	3168	0.48	3168	0.62	4092
	臨時職員（人・千円）							

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	費用対効果を勘案し、道路整備の箇所を選定する。	③取組の課題	国からの交付金対象外の道路整備事業であることから、財政状況も十分考慮する必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	改良の必要な2路線について、改修工事を実施し完了した。	④今後の改善計画	費用対効果等を勘案し、道路整備の箇所選定を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	10	
事業名	河川維持管理経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	3	1
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名	建設課		
		係名	土木係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民が安全・安心して暮らせるよう水害を未然に防止に努める。
事業内容	町が管理する河川を適正かつ効率的に維持管理を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			2,485		2,464		910		
財源内訳	直接事業費 A		43		22		52		
	うち一般財源		43		22		52		
人件費 (千円) B			2,442		2,442		858		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.37	2442	0.37	2442	0.13	858	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	員弁川をはじめとする町内2級河川の治水対策について、継続的に管理者である三重県に要望を行う必要がある。	③取組の課題	県の予算の範囲内での対応となることから、全ての箇所を対応することは困難である。
②R3年度に実施した取り組み	員弁川をはじめとする町内2級河川の治水対策について、継続的に管理者である三重県に要望を行った。	④今後の改善計画	員弁川をはじめとする町内2級河川の治水対策について、継続的に管理者である三重県に要望を行う必要がある。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	11	
事業名	都市計画経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	4	1
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名	建設課		
		係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員町	目的 (対象がどのような状態になっているか)	土地利用や都市施設などを適切に定めることで、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進する。
事業内容	都市計画マスタープランの推進を図り、計画的な都市整備を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	市街地・居住環境整備に関する満足度				%		↑
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			7,127	7,046	11,515			
財源内訳	直接事業費 A		131	50	5,707			
	うち一般財源		114	33	5,690			
人件費 (千円) B			6,996	6,996	5,808			
内訳	一般職員 (人・千円)		1.06	6996	1.06	6996	0.88	5808
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	長期間事業化していない都市計画道路の見直しを検討する。	③取組の課題	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進するために、目指すべき将来像をより明確にする必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	長期間事業化していない都市計画道路を洗い出し、R4年度に見直す方針を決定した。	④今後の改善計画	マスタープランに記載しているコンパクトシティを実現するために立地適正化計画の策定を検討する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	12-	12
事業名	公園維持管理経費	会計	款	項
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	4
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名	建設課	
		係名	都市計画係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	公園施設の補修・改修や植樹等の刈り込み・剪定・病害虫の駆除を行い、利用者の安全及び利便性の向上を図る。 住民参画による公園管理を推進し、公園愛護意識の高揚と公園環境の向上を図る。
事業内容	中部公園については利用頻度の多さから年8回の定期点検調査を実施し、その他36公園の遊具点検は年4回実施する。点検方法については、鉄鋼物膜厚測定、音響検査、目視検査、ボルト・ナット等締め付け調整を行う。 樹木等の管理(40公園)は、除草を年3回、樹木剪定を年1回実施し、ごみ拾いなどの通常管理は、週1回実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	中部公園利用者数	127,991			人		165,000
2	中部公園有料施設の利用者数	13,791			人		15,000	
3	中部公園のイベント数	4			回		8	
4								
5								
			令和2年度(決算)		令和3年度(決算)	令和4年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			79,018		76,515	87,181		
財源内訳	直接事業費 A		69,082		66,579	77,245		
	うち一般財源		63,144		60,101	69,828		
人件費(千円) B			9,936		9,936	9,936		
内訳	一般職員(人・千円)		0.96	6336	0.96	6336	0.96	6336
	臨時職員(人・千円)		2	3600	2	3600	2	3600

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善(少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	住民自ら公園管理に積極的に参画していただき、それぞれの地域や年齢層に見合った公園づくりに取り組んでいく必要があります。また公園を安全に利用してもらうために、引き続き管理の徹底に努めていきます。	③取組の課題	公園は地域住民にとって憩いの場であり必要不可欠な施設であり、様々な年齢の方が利用するためニーズも多様化し、その機能は多岐に及んでおり、施設の維持管理や補修は利用者の安全確保のため重要な業務であります。また、遊具の修繕箇所が年々増加しており、利用状況を考慮した管理が必要となります。
②R3年度に実施した取り組み	中部公園については利用頻度の多さから年8回の定期点検調査を実施し、その他36公園の遊具点検は年4回実施した。点検方法については、鉄鋼物膜厚測定、音響検査、目視検査、ボルト・ナット等締め付け調整を行った。樹木等の管理(40公園)は、除草を年3回、樹木剪定を年1回実施し、ごみ拾いなどの通常管理は、週1回実施した。	④今後の改善計画	住民自ら公園管理に積極的に参加いただき、それぞれの地域にあった公園づくりに取り組む必要があります。また、公園を安全に利用してもらうために、引き続き管理の徹底に努めます。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	13
事業名	緑化推進経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	4	3
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名	建設課		
		係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内景観	目的 (対象がどのような状態になっているか)	東員町の良好な景観を保持するとともに、防犯防災のために安全を確保する。 また、花いっぱい運動事業を推進し、緑と花のあるまちづくりを行う。
事業内容	笹尾・城山地内の高圧線下や外周部の緑地除草を行う。 花いっぱい運動に参加する団体に、花苗と肥料を配布する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	市街地・居住環境整備に関する満足度				%		↑
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B				20,860	30,500		32,878	
財源内訳	直接事業費 A			17,560	27,200		30,106	
	うち一般財源			16,273	25,913		28,819	
人件費(千円) B				3,300	3,300		2,772	
内訳	一般職員(人・千円)		0.5	3300	0.5	3300	0.42	2772
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	事業対象区域内の自治会に除草業務を委託しており、今後も住民協働体制を推進し、地域住民による管理意識の向上とコスト削減を図ります。	③取組の課題	花いっぱい運動の委託業者がR3年度から変更となり、経験不足から町有花壇管理や花苗の育苗が期待どおりに実施できなかった。
②R3年度に実施した取り組み	笹尾・城山地内の高圧線下や外周部の緑地除草を行った。 花いっぱい運動に参加する団体に、花苗と肥料を配布した。	④今後の改善計画	委託業者と連携を密にし、町有花壇管理や花苗の育苗のレベルアップを図り、緑と花のあるまちづくりに取り組む。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	14
事業名	住宅維持管理経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	5	1
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名	建設課		
		係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町営住宅、入居者及び入居希望者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	所管する町営住宅を適正に管理し、入居者及び住民に良好な住宅を供給する。
事業内容	予算の範囲内で修繕工事に努め、良質な町営住宅の供給を行う。入居手続き等事務を速やかに行い、入居者及び住民の要求に対応する。使用料の完全徴収に努め、公平性を担保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			4,981		8,907		6,592	
財源内訳	直接事業費 A		2,209		6,135		3,820	
	うち一般財源		0		0		0	
人件費 (千円) B			2,772		2,772		2,772	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.42	2772	0.42	2772	0.42	2772
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	町営住宅は低所得者階層や住宅困窮者を対象に供給管理しており、町内に居住する若年層及び高齢者にとって必要な施設であることから、継続維持する必要があります。しかし、家賃滞納者については、公平性を担保する上でも可能な限り厳しい対応をとり家賃の徴収に努める。	③取組の課題	家賃の徴収について、数ヶ月滞納する入居者がいるため、高額滞納にならないようきめ細やかな徴収に努める必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	予算の範囲内で修繕工事に努め、良質な町営住宅の供給を行った。入居手続き等事務を速やかに行い、入居者及び住民の要求に対応した。家賃の完全徴収に努め、公平性を担保しました。	④今後の改善計画	大木団地は建築から30年以上経過しており老朽化が進んでおります。長寿命化計画を含めて今後の方針を検討する必要がある。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	15
事業名	木造住宅耐震診断経費	会計	款	項	目
政策	8 安全と安心を守るために	一般	8	5	1
施策	8-1 消防・防災対策の充実	課名	建設課		
		係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅に居住している住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	無料耐震診断を行い、耐震改修を実施することで倒壊しにくい安全で安心な住宅を形成し、住民の命を守る。
事業内容	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断を実施する所有者に対して、その診断費用を全額補助する。 耐震補強工事にかかる設計費用、耐震補強工事及びリフォーム工事に対して補助を行う事で、より一層の耐震化の促進を図る。また、老朽化した空家対策として、除去工事費用について補助することで、まちの安全確保に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			6,228		4,336		6,373	
財源内訳	直接事業費 A		4,050		2,158		4,195	
	うち一般財源		1,304		637		1,243	
人件費 (千円) B			2,178		2,178		2,178	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.33	2178	0.33	2178	0.33	2178
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	耐震診断を受けたものの、設計や補強工事に至らない事例があるため、耐震診断を受けた所有者への働きかけを強化する。	③取組の課題	補助金の交付を受けられるものの、個人負担の費用が大きいことから事業の推進が図られない。
②R3年度に実施した取り組み	木造住宅耐震診断8件、耐震補強工事1件、耐震補強設計1件を実施しました。また、山田地区の昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅96件に戸別訪問し啓発活動を実施した。	④今後の改善計画	耐震化の重要性、補助制度について周知していくことを継続的に取り組む必要がある。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	16
事業名	空家等対策経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	8	5	1
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名	建設課		
		係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の空家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	空家の適正な管理が行われ、また空家利用希望者が利活用できていく状態
事業内容	東員町空家等対策計画に基づき、実態把握(定期的な空家等調査・所有者等への意向調査)、発生抑制・適正管理(所有者等への啓発、適正管理の促し)、利活用(空き家・空き地情報バンク制度の充実)を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
指標	1	空き家の活用数	0			件		2
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度(決算)		令和3年度(決算)		令和4年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			4,186		5,989		8,604	
財源内訳	直接事業費 A		28		1,831		5,832	
	うち一般財源		0		940		4,932	
人件費(千円) B			4,158		4,158		2,772	
内訳	一般職員(人・千円)		0.63	4158	0.63	4158	0.42	2772
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善(少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	R2年度から空家リフォーム支援事業補助金、空家除却支援事業補助金を創設し、空家利活用、発生抑制に取り組んだ。	③取組の課題	所有者自らの責任で適正に管理することが前提となるが、空家を取り巻く社会問題は複雑であり、所有者だけで解決することが困難となっている。
②R3年度に実施した取り組み	東員町空家等対策計画の改訂に向けて空家等実態調査を実施した。	④今後の改善計画	空家対策を効果的に進めるためには、町民、地域、NPO等の団体、行政が連携することが重要であり、具体的な方法を検討する必要がある。